

## ！ 混植を楽しもう

花が1種類だけでさびしいと思われる方には、2種類を一緒に植えて両方楽しむといった「混植」はいかがでしょう？

初心者でも失敗しにくい組み合わせは「アサガオとフウセンカズラ」「ゴーヤとアサガオ」などです。

栽培時期や管理の違い、相性もありますので初心者には難しいですが、慣れてきたらいろいろ試してみてください。



## ！ 病害虫について

ゴーヤは病害虫に強い植物ですが、まれに病気や害虫が発生します。病害虫は、発生すると他の株にも伝染しますので、早急に対応が必要です。

**うどんこ病**は、葉や花首がうどん粉に覆われたように白くなる病気で、生育不良になり、花が咲かないなどの被害があります。



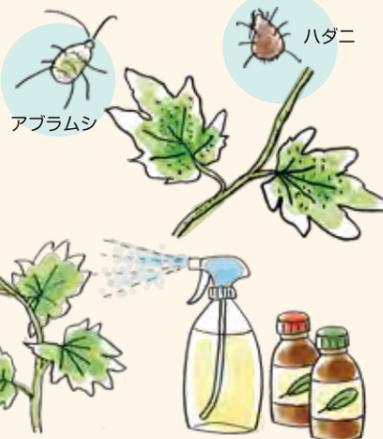
粉を吹いたようになる

また、**べと病**が発生すると、葉が淡褐色に変わり、葉裏にカビが生えます。主に下葉から発生し、徐々に上の葉に広がります。病葉は、雨が続いて湿度が高いとべとべとになります。

またさらに淡褐色になったら注意



**害虫**としては、アブラムシやハダニがつくことがあります。



状況に応じて、病変部を取り除くか、薬剤を散布してください。薬剤はできるだけ環境にもやさしいものを使いましょう。

※薬剤を散布するときは、静かにかけたり、葉をビニールで覆いその中で撒くなど、周囲に飛ばないように気をつけましょう。

## ！ 枯葉・枯ツルなどの後始末について

緑のカーテンの枯葉や枯ツルなどの後始末は、

- 生ごみ処理機やコンポスト容器などを利用しましょう
- 花壇などの空きスペースや、プランターに残った土に埋め戻して堆肥化しましょう



このような方法により、焼却せずにリサイクルすることができます。

ごみ減量の取組みの一環として、リサイクルにも取り組んでみましょう。



# 緑

## のカーペットの育て方

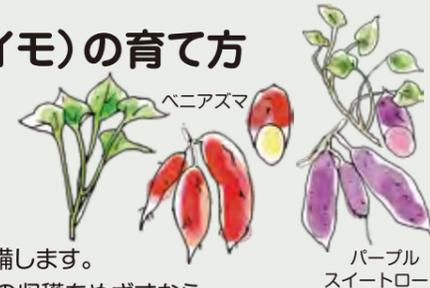
### サツマイモ編

建物の屋上にスペースがあれば、緑のカーペットをつくってみませんか？



### 緑のカーペット(サツマイモ)の育て方

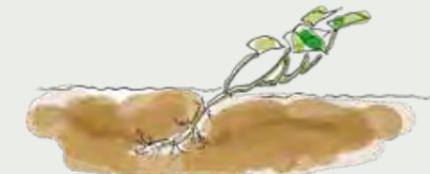
サツマイモは切苗(ツル)から育てます。ベニアズマやパープルスイートロード等の品種が適しています。葉が5~6枚ついている苗を購入しましょう。



土やプランターは、ゴーヤの緑のカーテンと同様に準備します。土30リットルに対して苗1~2本が目安です。サツマイモの収穫をめざすなら、プランターは30cm以上の深さが必要です。

5月

植え付けは5月上旬を目安にします。節から根が出ている苗が植え付けの適期です。苗がしおれている場合は、切り口を水につけて十分に吸水させてから植えます。



6月

植え方は、斜め植えが一般的です。葉が土に埋まらないように、深さ5cmぐらゐに斜めに植えて、軽く押さえます。プランターに2苗植えるときには30cmほど間隔をあげましょう。植え付け後は、水をたっぷりあげてください。



7月

植え付け後、しばらく葉はしおれたままですが心配ありません。1~2週間後、発根してツルが伸びはじめます。

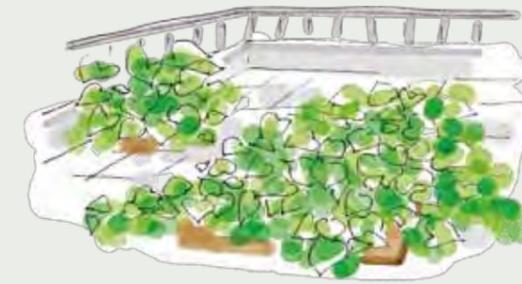
8月

水は、土が乾いたらたっぷり与えます。夏は毎日水やりをしましょう。肥料分が水と共にプランターから流れ出てしまうので、様子を見て追肥を与えてください。



9月

気温の上昇とともに、ツルが伸びて葉が元気よく生い茂り、カーペットのように屋上を覆うようになれば完成です。



10月

10月中旬に入ると収穫の時期です。イモが大きくなっていれば、まずツルを刈り取ります。プランターをひっくり返してイモを取り出せば、傷つけずに収穫できます。

